

医療・福祉側から図書館への期待

～図書館と医療福祉の連携プロジェクト概要～

国立がん研究センターがん対策情報センター

八巻 知香子

がんは2人1人、
でも、なっちはじめて・・・

- 「頭は真っ白」になった
- 「がん」はもう治らない？
- 病院のペースで治療が進んでいく・・・、本当にこれでいいの？
- これを飲めばがんが消えた！ 本当？

どこに行けば正しい情報があるか？
誰に言えば手伝ってもらえる？

がんになってからでは遅い。
元気なときに入り口だけでいいから知っていてほしい。
知っていてほしいけれど、知られていない

がん相談支援センターとは・・・

全国に設置された、がんの相談窓口

「がん診療連携拠点病院」、「小児がん拠点病院」
「地域がん診療病院」に設置されている



困ったことや不安なことがあれば



がん相談支援センター

にご連絡ください

がん診療連携拠点病院

全国どこでも質の高いがん医療が受けられるように
厚生労働大臣が指定した施設。

古谷緑 堺市がん情報講座「楽しみながら考えてみるーがんになってもあきらめない人生を送るコツ」2016-07-16 紹介資料より

「がん相談支援センター」に相談できること

気分が落ち込む、思
いを聞いて
もらいたい

私の治療は、
どんな治療
なのかしら？

治療をすすめられ
ただけど・・・

患者、家族と、
どのように話せばい
い？

セカンド
オピニオン
を受けたいんだ
けど・・・

治療にかかる
費用は？

ホスピスって？

介護保険の
申請はできるの
かしら？

仕事を休め
ないんだけど・・

家族の看病を
しながら
仕事を続けられる？

古谷緑 2016-07-16 紹介資料より

「がん相談支援センター」に相談できること

と、がん相談支援センターの困りごと

気分が落ち込む、思
いを聞いて
もらいたい

私の治療は、
どんな治療
なのかしら？

治験をすすめられ
ただけど・・・

来てくれた相談者には対応できます。でも、来てくれないと始まりません。

病院の中で待っていてもだめ。広く知っていてほしいけれど、どうすればよい？

を交けにいんに
けど・・・

多くの人は治療で治りますが、重篤な病気であることは確か。

“どう生きて、どう死ぬか“、という大きなテーマは、病気になる前から考えていないと間に合いません。

←病院には不得手なテーマ

かしら？

仕事を休め
ないんだけど・・

家族の看病を
しながら
仕事を続けられる？

古谷緑 2016-07-16 紹介資料より

事業をはじめるとあたって感じていた課題

- がんの「入口」の情報だけでも伝えていく必要があるが、病院の中では伝えられない。
- 日常生活の中でがんや病気、健康について考える機会を持っていく必要があるが、病院ではできない。
- 特に高齢者や視覚障害者など情報弱者への情報提供は特に課題が多い。がん以外にも複数のニーズを抱える人には十分に対応できていない。
- 高齢者や視覚障害者の生活を支える福祉サービスの窓口は、「がん」に対する情報提供手段を持ち合わせていないことが多く、福祉側からのがん情報のサポートも困難。
- 専門分化しがちな各専門機関が互いに協力しながらサポートする体制なしには、一番困っている人たちに必要な情報は届かない。
- なんとか縦割りを超えて手をつなげば、本当に困っている人に見つけてもらえる「がん相談支援センター」になれるのでは。

日常場面での情報提供機関

・・・そう、図書館に行ってみよう。

図書館の健康医療情報コーナー

	回答数	%
実施中	128	13.8
実施を決定し、 現在準備中	15	1.6
検討したが実施 を見送った	17	1.8
実施するかどう うか検討中	101	10.9
未検討	665	71.7
無回答	2	0.2
合計	928	100%

15.4%

効果

- レファレンスが案内しやすくなった(81.3%)
- 図書館のPRができた(53.1%)

課題

- 専門知識を持つ職員の確保・育成が難しい(64.8%)
- 選書が難しい(57.8%)
- レファレンス対応が難しい(57.0%)

須賀千絵 第100回全国図書館大会第21分科会 明治大学, 2014-11-01

図書館の健康医療情報コーナー

	回答数	%
実施中	128	13.8
実施を決定し、 現在準備中	15	1.6
検討したが実施 を見送った	17	1.8
実施するかどう うか検討中	101	10.9
未検討	665	71.7
無回答	2	0.2
合計	928	100%

効果

図書館でも取り組みは進んでいる様子。

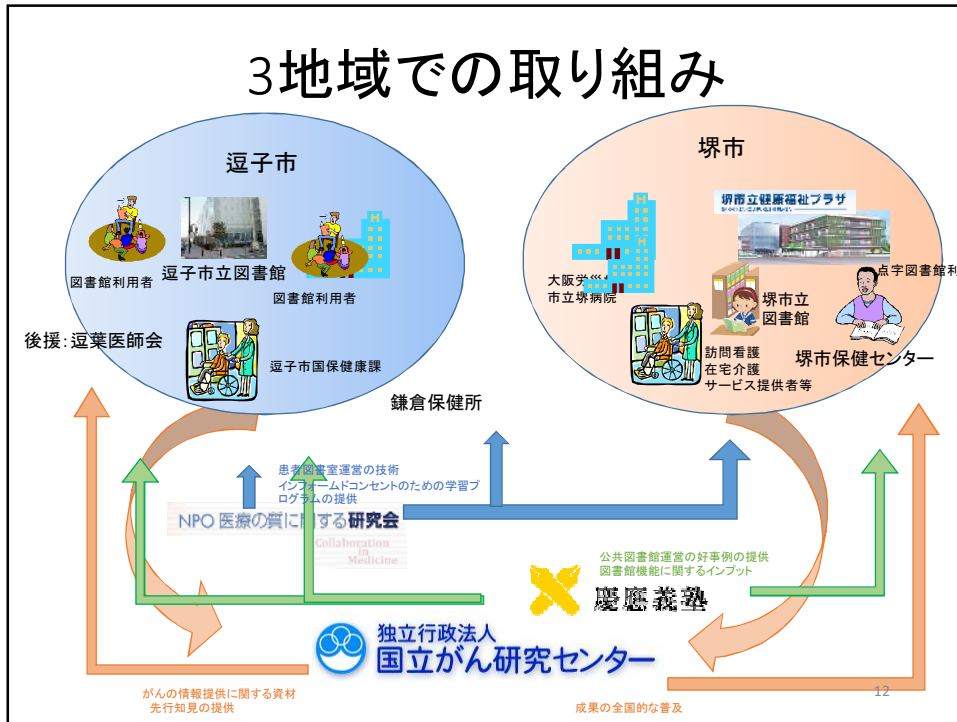
そして、困っている内容は、医療機関が得意とすることもある。

協力すればいい関係ができるのでは？

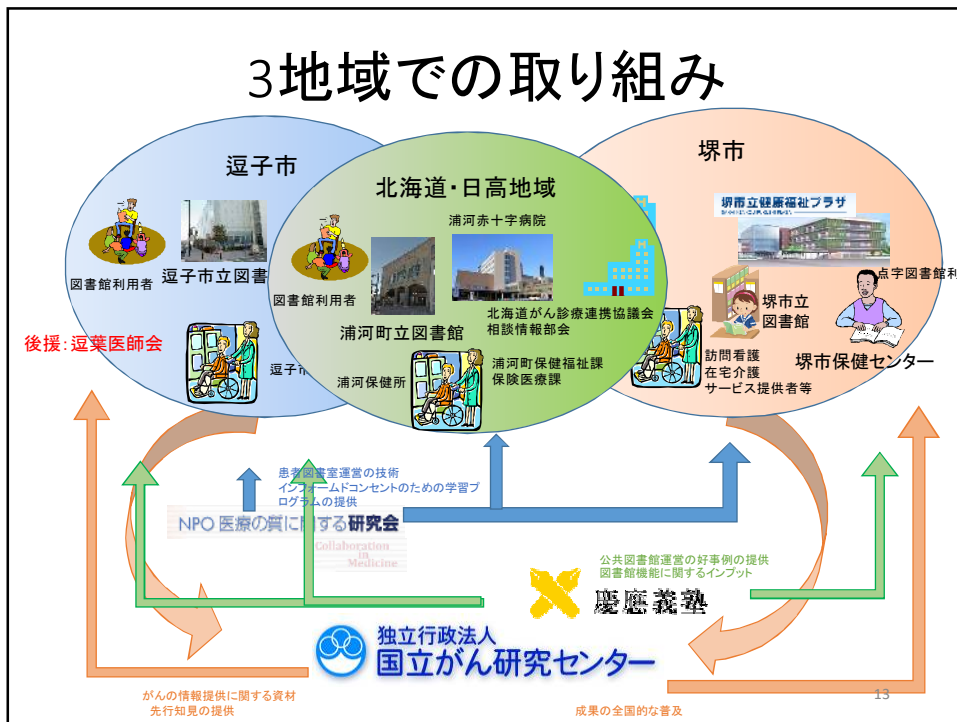
- 育成が難しい(64.8%)
- 選書が難しい(57.8%)
- レファレンス対応が難しい(57.0%)

須賀千絵 第100回全国図書館大会第21分科会 明治大学, 2014-11-01

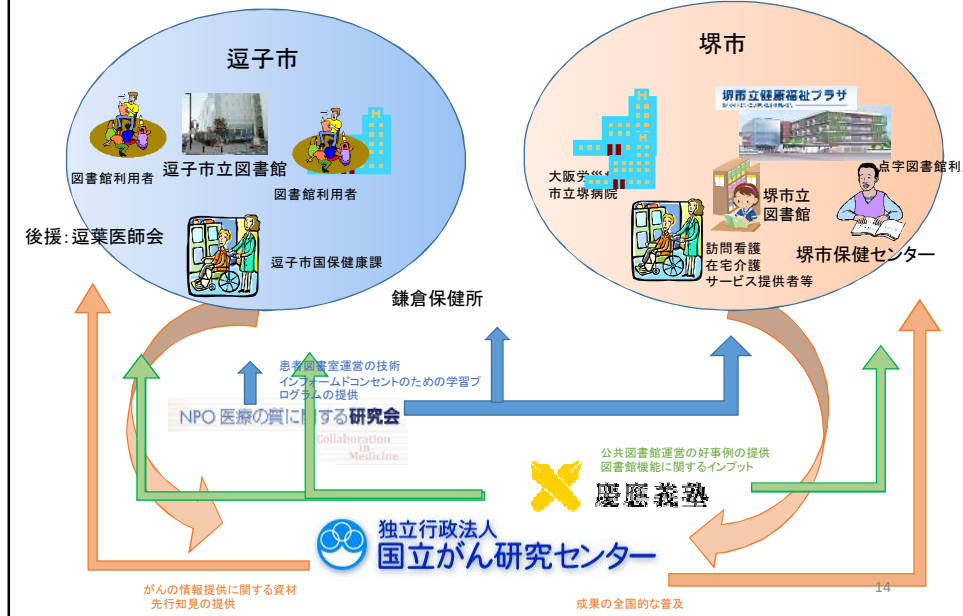
3地域での取り組み



3地域での取り組み



3地域での取り組み



取り組みの中で心がけたこと

- ◆ 気軽にできる、楽しく出来る、無理なく出来る
- ◆ 餅は餅屋。自分たちの機関の特技や本務を生かして参加
- ◆ 連携相手の顔が見えたら安心して無理なく繋げる。
- ◆ 対象となる住民、市民は多数。一回作ったものや発想は使いまわせるといいなあ

堺市チームの取り組み(2014年夏～2016年度)



堺市立健康福祉プラザ4階 まちライブラリープラザ『ひといき』



- 所蔵資料はわずか。多くは市立図書館からの団体貸出
- 「ひといき」の利用案内とあわせて連携先の情報を配布
- 必ずボランティア(チーフは元図書館長)が常駐する体制での運営

初めての活動＝市民の前で自己紹介

がん情報をもっと身近に～図書館と医療が繋がるとき！～

はじめの挨拶

原田敦史(堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センター 点字図書館長)

基調講演:図書館・医療・福祉の連携でできること

田村 俊作(慶応大学文学部 教授)

シンポジウム:図書館・医療・福祉の連携をめざして

医療・福祉・図書館の連携事業が目指すもの

八巻知香子(国立がん研究センター がん対策情報センター)

大阪労災病院 がん相談窓口の取り組み

石井世津子(大阪労災病院 メディカルサポートセンター)

市立堺病院 がん拠点病院としての新たな歩み

柳川富久美(市立堺病院 地域医療連携室)

堺市の保健センターでの事業について

稲葉和紀(堺市健康福祉局 健康部 健康医療推進課)

堺市立図書館における健康情報の提供について

浦部文子(堺市立西図書館)

「まちライブラリープラザひといき」OPEN

高橋三智世(堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター)

おわりの挨拶

若尾文彦(国立がん研究センターがん対策情報センター センター長)



H26年度

がん情報をもっと身近に～図書館と医療が繋がるとき！～

はじめの挨拶

原田敦史(堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センター 点字図書館長)

基調講演:図書館・医療・福祉の連携でできること

田村 俊作(慶応大学文学部 教授)

「私たち、一緒に活動することになりました。繋がっていますから、安心して、どこか一番身近なところで声をかけてください。」

シンポジウム:図書館・医療・福祉の連携をめざして

医療・福祉・図書館の連携事業が目指すもの

八巻知香子(国立がん研究センター がん対策情報センター)

大阪労災病院 がん相談窓口の取り組み

石井世津子(大阪労災病院 メディカルサポートセンター)

市立堺病院 がん拠点病院としての新たな歩み

柳川富久美(市立堺病院 地域医療連携室)

堺市の保健センターでの事業について

稲葉和紀(堺市健康福祉局 健康部 健康医療推進課)

堺市立図書館における健康情報の提供について

浦部文子(堺市立西図書館)

「まちライブラリープラザひといき」OPEN

高橋三智世(堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター)

おわりの挨拶

若尾文彦(国立がん研究センターがん対策情報センター センター長)

「聴衆以上に「へえ～そんなことしてるんだ～」と初めて知って面白いと思った私たち。」



それぞれの組織の本来の役割をどうやったら
活かし合えるのか

第1回ひといき公開講座

もし、がんになったら？ — 早く見つけて楽に治そう！ —

日時: 2015年4月18日(土) 10:30~12:00
場所: 堺市立健康福祉プラザ 4階 交流広場
手話通訳、要約筆記、音声解説あり

10:30 講演
大阪府立成人病センター 疫学予防課長
中山 富雄 先生
11:30 がん相談コーナー



- ◆ いつもとは違う人向けの啓発をしたい(病院・市役所)
- ◆ 障害者の情報保障についても知ってほしい(点字図書館)

それぞれの組織の本来の役割をどうやったら
活かし合えるのか

第2回ひといき公開講座

がん検診って何をするの？ — がん検診の実際を知ろう！ 体験会 —

日時: 2015年7月24日(金) 13:00~15:00
場所: 堺市立健康福祉プラザ 3階 大研修室
手話通訳、要約筆記、音声解説あり
司会: 原田敦史(堺市立健康福祉プラザ)

13:00 講演会
もっと知ってほしい がんのこと(DVD上映)
がん検診って何をするの？—準備や当日の注意 心配や不安はありませんか？
がん検診の実際を知ろう！—
講師: 西本夕紀(堺市健康医療推進課)



14:00 がん検診体験コーナー
・バリウム・発泡剤 どんな味？
・大腸がん検査キットの使い方、粘土でやってみよう
・乳がんのしこりって、こんな感じ。触ってみたら・・・
出張がん相談

- ◆ がん検診の啓発をしたい(市役所)
- ◆ 見えない人が検診受けるのは不安に感じているかも(点字図書館)



第3回 ひといき公開講座

より“届く”、より“刺さる”伝え方は？

知っ得！がん情報！ 活用しよう「がん相談支援センター」

日時：2015年12月06日(日) 10:00～12:00(開場 9:30)

会場：堺市立健康福祉プラザ3階 大研修室

手話・要約筆記・音声解説あり

司会は図書館員

司会：浦部文子(堺市立西図書館)

がん〇×クイズに挑戦！ ちらし

堺市健康医療推進課



電子紙芝居上映

私、がんかもしれない・・・、あなたならならどうする？

大阪労災病院緩和ケア認定看護師 松延さゆり

自分が、大切な人が、がんになったら

堺市立総合医療センターがん看護専門看護師



がん出張相談

相談対応する本人が紹介

「お徳感」「笑い」必須で企画

写真紙芝居

- “啓発”を説教くさくなく、自然に伝えたい
- 寸劇(逗子チーム)はハードルが高い
- 写真をPPTにして声だけ当日実演ならできるのでは



舞台裏＝声優陣

大阪労災病院スタッフが中心となり、シナリオ・写真撮影などすべて自作。

当日も本事業の堺チーム(市役所、図書館、点字図書館、病院)全員出演で声優

今後、様々な待合の場などで使えるのでは・・・

今回はたまたま予算があったので声優さんを入れてDVDに編集。

でも、自分たちが演じたバージョンの方がよい面もあります。

ブースでご覧いただけます。ご希望があればお貸しできます。

医療＋図書館で作成したパスファインダー がん検診＝堺市

- 病気の説明部分は、「がん情報サービス」資料をもとに、がん看護専門看護師、認定看護師、保健師が作成
- 蔵書からブックリストを作成



がんの説明
がんの情報
＝病院

会場を公共図書館に移して

映画＋検診啓発＋がん相談支援センター周知



- 会場は市立西図書館
- 司会は図書館長、それぞれのコーナーを担当したスタッフが紹介

プログラム

- 写真紙芝居の上映
- がん相談支援センターの紹介
- 西図書館からのおすすめ図書紹介
- 映画上映
- がん相談会
- がん情報コーナーの設置



